令和7年度 福島県奨学生(在学)募集の案内《追加募集》

福島県奨学資金

大学・短期大学・高等専門学校

本県奨学資金は、福島県出身の生徒又は学生であって、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難と認められるものに対して奨学資金を貸与し、もって教育の機会均等をはかり、健全な社会の発展に資することを目的としております。

- 1 **募集人員** 〔大学・短期大学・高等専門学校〕 80名程度
- 2 **貸与月額** 〔大学生·短大生〕 月額 国公立 35,000 円/私立 40,000 円

〔高等専門学校生〕 月額 18,000円

- 4 申込の方法 在学する大学・学校を通して行います。

5 採用の決定

① 申請に必要な書類を学校へ提出 10 月 2 日まで

② 学校の推薦を得て申請へ

専用フォームまたは窓口で提出(17時まで) ※<必要書類>記載の書類を全て揃えて提出

↓

1

③ 学校より申請書類を福島県へ 今和7年10月15日(水)必着

提出された書類により、選者作業を行い、奨学生として決定します。

採否については、大学・学校を通して本人に**12月初旬**までに通知します。 採用された場合、誓約書の提出後、**R7年4月分まで遡り貸与開始**となります。 **初回振込日はR7年12月末**(R7年4月~12月分をまとめて)の予定です。

以降原則毎月10日に振込となります。

◆問合せ先◆ 在学する学校又は福島県教育庁高校教育課(下記)まで

〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 〒1:024-521-7775 (直通) Fax:024-521-7973

福島県奨学資金

検索

<応募資格>

1 各区分に応じ、次に掲げる条件を具備していること。

[大学生・短大生の場合]

- ① 県内の高等学校を卒業した者、若しくは高等学校卒業程度認定試験若しくは大学入学 資格検定に合格した者。(合格当時県内に住所を有していた場合に限る。)・・・入学 又は入学する目的をもって住所を移転するまで県内に引き続き6ヶ月以上住所を有して いること。
- ② 県外の高等学校を卒業した者・・・卒業の月に福島県奨学資金を受けていたこと。

[高等専門学校生の場合]

- ① 県内に所在する学校に在学する者・・・県内に引き続き6ヶ月以上住所を有している こと。
- ② 県外に所在する学校に在学する者・・・入学又は転学するまで県内に引き続き6ヶ月以上住所を有しており、かつ、保護者が県内に6ヶ月以上住所を有していること。
- 2 在学大学・学校より推薦を受けるには、次に掲げるすべての基準を満たしていることが必要です。

【学 力】

[大学生・短大生の場合]

高等学校における最終2ヵ年の全履修科目の評定を合計し、これを全履修科目数で割った値(小数点第2位四捨五入)が3.0以上であること。ただし、2年生以上の場合は、さらに大学における学業成績が本人の属する学部(科)の平均水準以上であること。

[高等専門学校生の場合]

中学校における最終2ヵ年の全履修教科の評定を合計し、これを全履修教科数で割った値(小数点第2位四捨五入)が3.0以上であること。ただし、2年生以上の場合は、さらに高等専門学校における学業成績が本人の属する学科の平均水準以上であること。

【所 得】

本人の生計を主として維持する者の1年間の総収入金額から必要経費及び特別控除額を差し引いた所得金額が、規定する所得基準額以下であること。

(詳細は、別紙「所得金額の求め方」をご覧ください。)

<注意事項>

- 1 応募資格の条件を満たし、大学・学校からの推薦を受けて応募いただくようになります。
- 2 同種類(貸与型)の修学資金を他から受けていないこと。
 - ※ 他団体の奨学資金との併願のみ可能。<u>併用は不可。(給付型との併用は可能です。)</u> なお、本県奨学生に採用後に併用が判明した場合は、奨学生決定当初に遡及して奨学生を取り消します。
- 3 過去に福島県奨学資金を全修学期間貸与された者又は現に貸与されている者は申し込みできません。

〈必要書類〉 記入終了後、そろっているか ロ に / チェックしましょう

| へ必要音級/ 記入絵」後、そううでいるが、ロ に ▼ チェックしましょう |
|--|
| □ 福島県奨学生願書(第1号様式) |
| ① 「記載例」及び「願書裏面の注意事項」をよく読み、読みやすい字で記入してください。 ② 申請者(学生)の現住所は、実際住んでいる住所を記入してください。自宅外通学等で住民票現住所と異なる場合は、「居住証明書」又は「在寮証明書」を、避難されて住民票現住所と異なる場合は、「届出避難場所証明書」を必ず提出してください。 ③ 保証人は2人(連帯保証人と保証人)必要です。 ※ 連帯保証人・福島県内に住所を有する親権者等。 |
| ※ 保証人・・・・・申請者及び連帯保証人と別住所・別生計で、返還の責務を負える成年者。 65才以下の方にしてください。 |
| ④ 記入誤りを訂正する場合は、二重線を引き、訂正印を押し、余白に正しく記入してください。(修正液、修正テープの使用不可) |
| □ 福島県奨学生推薦調書(第2号様式)⇒ ※在学している大学・学校で記入します ※「推薦所見」欄は担当指導教員に記入を依頼してください。 指導教員がいない場合、所属学部の学務担当係で推薦書を作成していただける先生を紹介してもらい、作成を依頼してください □ 成績証明書 |
| ① 出身高等学校の成績証明書(調査書不可)を取り寄せてください。※高専生は不要です。 ② 申請者が2年生以上の場合、①の出身高等学校の成績に加え、在学学校の成績が必要です。 |
| □ 令和7年度 令和6年分 (令和6年1月から令和6年12月まで)所得証明書 (就学者以外の世帯全員分) |
| ① 源泉徴収票は不可。 ② 就学者以外は、無職、年金受給者の方も提出してください。 ③ 令和6年の中途又は令和7年中に退職、転職(開業・転業・勤務先変更も含む)等がある場合は、他に書類を提出していただく場合がありますので、お問い合わせください。 ④ 市町村の発行開始時期が提出期限に間に合わない場合は、在学学校へご連絡ください。 ※ 発行開始時期は市町村によって異なりますので、各市役所・役場へお問い合わせください。 |
| □ 住民票謄本(本籍・続柄等記載の世帯票)※マイナンバー(個人番号)の記載がないもの |
| ① 戸籍謄本は不可。② 同居・別居を問わず同一生計の方全員分を提出ください。(単身赴任や学生を含む)※ 住所が同一で世帯が別の場合(二世帯以上の同居又は祖父母等)も全員分が必要です。 |
| □ 保証人の住民票抄本 (本籍等記載の個人票) ※マイナンバー(個人番号)の記載がないもの |
| □ □ □ □ □ 座振替による支払申出書 |
| ① 申請者(学生)名義の普通預金のみ有効。(貯蓄型口座への振替はできません。) |
| ② 通帳の表紙および通帳の見開き1ページ(金融機関名/店舗名/口座番号/カナ氏名がわかるページ)のA4コピーを必ず添付してください。 |
| ③ 申請者(学生)の住民票の住所を記載どおりに記入してください。 |
| □ 居住証明書 《注意》 □ 特別の事情にかかる経費内記 該当者のみ提出 |

□ 給与支払(見込)証明書

3

<返還について>

奨学資金は貸付金です。貸与が終了すると、奨学生本人に返還義務が生じます。 返還金は後輩奨学生の奨学資金として直ちに活用される重要なものです。

福島県奨学資金の申請の際は、申請者及び連帯保証人並びに保証人において、 卒業後の返還義務を十分にご理解のうえ、申請されますようお願いいたします。 なお、返還の目安については、下表をご参照ください。

【返還の方法】

【返還の期間・方法】

卒業の月の6ヶ月後から貸与を受けた奨学資金の総額に応じ20年以内 に全額を半年賦 (年2回) で返還していただきます。

福島県教育委員会が発行する納入通知書により、県の指定金融機関及 び収納代理金融機関の窓口(ゆうちょ銀行以外)、またはコンビニエン スストアに持参して納付していただくようになります。

※口座振替等の取扱いはありません。

【利子及び延滞利息】 利子は、無利子となりますが、返還すべき日までに返還されない場合は 年10%の延滞利息が発生します。

> また、納期限を経過しても返還に応じていただけない場合は、連帯保証 人及び保証人に請求するとともに、法的手段を講じる場合もあります。

【返還額の例】

| | | 貸与年数 | 貸与月額 | 貸与月数 | 貸与総額 | 半年賦額 | 返還 回数 | 返還 年数 |
|----|------|------|-----------|-------|---------------|-----------|----------|----------|
| 大学 | 国公立 | 4 | 35, 000 円 | 48月 | 1, 680, 000円 | 60,000円 | 28 回 | 14年 |
| 入子 | 私立 | 4 | 40,000円 | 48月 | 1, 920, 000 円 | 64,000円 | 30回 | 15年 |
| 短期 | 国公立 | 2 | 35, 000 円 | 2 4 月 | 840, 000 円 | 42, 000 円 | 20回 | 10年 |
| 大学 | 私立 | 2 | 40,000円 | 24月 | 960, 000 円 | 48, 000 円 | 20回 | 10年 |
| 高等 | 専門学校 | 5 | 18,000円 | 60月 | 1, 080, 000 円 | 49, 000 円 | 22 回 | 11年 |

※ 端数は初回返還金で調整されます。

所得金額の求め方

家計支持者一人の所得金額(給与その他の収入などの1年間の総収入金額から必要経費特別控除を差し引いた金額)が表2(所得基準額表)の基準額以下であること。

給与所得者 5人家族(父・母・大学生・高校生・祖母)の例

| | | | | 収入金額 | 控除額(表3) |
|-----|-------|---------|---------|------------------------|----------|
| | 父 | 会 社 員 | 給 与 収 フ | 8,500千円 | |
| | 母 | パート従業員 | 給 与 収 フ | 950千円 | |
| | 本人 | 私 立 大 学 | 自宅外通与 | 5 | 1, 440千円 |
| | 弟 | 県立高等学校 | 自宅通 | 5 | 280千円 |
| | 祖母 | 無職 | 年 金 収 7 | 520千円 | 860千円 |
| とが家 | 計支持者で | であるので、 | | *の「給与収入金額」 「給与支払金額」 | 障がい者控除額 |

- ① 給与所得の計算式(裏面表 1)から 8,500千円 × 0.7 - 2,226千円 = 3,724千円
- ② 特別控除額表(裏面表3)から(控除を差し引く) 3,724千円 - (1,440 + 280 + 860) = 1,144千円 ※その他の所得(営業所得、不動産所得等)があれば上記の所得金額に加算されます。
- ③ 所得基準額表(裏面表2)により5人世帯4、280千円以下ということで申請可能となります。

給与所得者以外(自営業・農業等) 3人家族(父・本人・妹)の例

| 得 | 3, 300 | 千円 | 490 | fЩ |
|-----|--------|----|--------|--------------------------|
| 332 | - 7 | | | |
| i 学 | | | 1, 020 | 千円 |
| 学 | | | 410 | 千円 |
| | 学にい。 | | | \ \ \ √-25 |

- ② 特別控除額表(裏面表 3)から(控除を差し引く) 所得」、「不動産所得」等の合計金額 3,300千円 (490 + 1,020 + 410) = 1,380千円
- ③ 所得基準額表(裏面表2)により3人世帯3,620千円以下ということで申請可能となります。

表 1 給与所得の計算式

収入金額3,290千円以下のもの・・・・・・・・・所得金額=0円

収入金額3,290千円を超え4,000千円までのもの・・・・収入金額×0.8-2,626千円=所得金額

収入金額4,000千円を超え8,780千円までのもの・・・・収入金額×0.7-2,226千円=所得金額

収入金額8,780千円を超えるもの・・・・・・・・・・・収入金額-4,860千円=所得金額

表 2 所得基準額表(世帯人員別所得基準額)

| 世帯人員 | 基 準 額 | 世帯人員 | 基 準 額 |
|------|--------------|------|---------------|
| 1 人 | 1, 860, 000円 | 5 人 | 4, 280, 000円 |
| 2 人 | 3, 100, 000円 | 6 人 | 4, 520, 000円 |
| 3 人 | 3, 620, 000円 | 7 人 | 4, 750, 000円 |
| 4 人 | 3, 950, 000円 | 8 人 | 4, 980, 000 円 |

※ 世帯人員が8人を超える場合は、1人増すごとに230,000円を世帯人員8人の所得基準額に加算する。

表 3 特別控除額表

| | 特別の事情 | | 特別 | 空除額 | 2 | 証明書 |
|-------|------------------|---------|------------|--------------|--------------|------|
| 1 | 母(父)子家庭 | | 490, | 000円 | | |
| 2 | 就学者のいる世帯 | 区分 | 通学形態 | 国公立 | 私立 | |
| | (1人につき) | 小学校児童 | | 80, | 000円 | |
| | | 中学校生徒 | | 160, | 000円 | |
| | 注1:自宅外通学の控除は、住民票 | 高等学校生徒 | 自宅通学 | 280,000円 | 410, 000円 | |
| VA | 又は居住証明書でそれが確 | | 自宅外通学 | 470,000円 | 600, 000円 | |
| | 認できる場合に限ります。 | 高等専門学校 | 自宅通学 | 360,000円 | 600, 000円 | 不要 |
| | 確認できないときは、自宅通 | 学生 | 自宅外通学 | 550,000円 | 800, 000円 | (注1) |
| | 学の控除になります。 | 専修学校高等 | 自宅通学 | 170, 000円 | 370,000円 | |
| | | 課程生徒 | 自宅外通学 | 270, 000円 | 460, 000円 | |
| | | 専修学校専門 | 自宅通学 | 220, 000円 | 720, 000円 | 2 |
| | | 課程学生 | 自宅外通学 | 620, 000円 | 1, 120, 000円 | |
| | | 大学学生 | 自宅通学 | 590, 000円 | 1, 010, 000円 | |
| | | | 自宅外通学 | 1, 020, 000円 | 1, 440, 000円 | ٠. د |
| 3 | 障がい者のいる世帯 | 1人につき8 | 60,000円とする | 00 | | |
| 4 | 長期療養者のいる世帯 | それぞれの | 事情により経済的 | 的に特別の支出 | をした金額。 | |
| 5 | 家計支持者が別居している世 | 別居のため特 | 寺別に支出した会 | 金額。 | | |
| | 带 | ただし、710 | ,000円を限度と | :する。 | | 要 |
| 6 | 火災・風水害・盗難などの被 | 日常生活を含 | 営むために必要な | な資材又は生活 | 費をうるための | 玄 |
| 18.00 | 害をうけた世帯 | 基本的な生活 | 手段(田・畑・店 | 舗等) に被害が | あって将来長期 | |
| | | にわたって減り | 又または支出増1 | になると認めら | れる年間金額。 | |
| 7 | 家計支持者が父母以外の世帯 | | 410, 0 | 000円。 | | |

備考
① 「就学者のいる世帯」による控除は、申込者本人を含みます。

- ② 現時点(申請時点)において特別の事情に該当する項目について控除されます。
- ③ 3の障がい者控除と4の長期療養者の控除は重複できません。

(表) ※受 第1号様式(第1条関係) ※決定番号 高・大第 묶 性別 ふりがな 県 奨 福 島 学 生願 氏 名 年 月 生年月日 日(満 歳) 立 本 籍 在 学 部 科 学年 現 住 所 学 校 制 電話番号 電話番号 (•) 貸与月額 円。 年 月から 希望事項 貸与期間 同上の 年 月まで 所在地 大学等入学一時金 円 先は先 所得(税込) 務 収入(税込) × 氏 名 疾病の 文 在 学 続柄 年齢 職 業 (生計維持者と別居している) 者には×印をつけること。) 有 無 千円 千円 1 本人 2 家 3 族 4 5 \mathcal{O} 6 状 7 8 況 9 10 名 計 ふりがな ふりがな 連 保 氏 名 氏 名 帯 生年月日 年 月 日(満 歳) 年 生年月日 月 日(満 歳) 年間収入 本人との 千円 年間収入 本人との 証 続 柄 (税込) 柄 (税込) 籍 証 本 本 籍

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

)

人

現住所

電話番号

(

人

現住所

電話番号

| | 奨学金を | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------------------------|-----|------|---|---------|------|----------|-----|-------|-----|-------|------------|
| | 希望する | | | , | | | | | | | | |
| | 理由 | | | | | | | | | | | |
| | 現在受けている、 | 有 | | | 修学のたる | かの資金 | 金の名称 | | | | 資金の | 種類 |
| | 又はこれから受け | | 7.1 | | | | | | | (1 | 貴与 · | 給付 |
| 参 | ようとする他の修 | · * | • • | | | | | | | 1 | 資与 ・ | 給付 |
| | 学のための資金 | 無 | | | | | | | | 1 | 資与 ・ | 給付 |
| | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 年, | 月日 | | 履 | | | | | 歴 | | 2 - 30 000 |
| | | 年 | 月 日 | | | | 77 | | | | 中学村 | 交入学 |
| 考 | | 年 | 月 日 | | | | | | | | | |
| 4 | オトの屋庭 | 年 | 月日日 | | | | | | | | | |
| | 本人の履歴 | 年 | 月 日 | | | | | | | | | |
| 事 | Na V | 年 | 月 日 | - | | | | . \ | | | | |
| , Î | | 年 | 月日日 | | | 18. | | | | | | 1 |
| 1 | | 年 | 月 日 | | | | * | | | | | |
| | | | 収 | | 入 | | 支 | | 出 | | 備 | 考 |
| 項 | 1カ月当たり | 家庭 | か | ら | 円 | 生生 | 活 | 費 | | 円 | 0 a 0 | |
| | | アルバ | イト等か | 5 | 円 | 交 | 通 | 費 | | 円 | | |
| | の平均学費 | 県奨学 | 資金か | 5 | : " - 円 | 学 校 | 納付 | 金 | . , . | 円 | | |
| | | その | 他か | 5 | 円 | 書籍 | · 学 用 | 品 | | 円 | | |
| | (収入=支出) | | | | | そ | O | 他 | | 円 | | |
| | | | 計 | | 円 | | 計 | | | 円 | | |

以上の記載事項に相違ありません。 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り 奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を 履行します。

上記のとおり保証人と連署して誓約します。

月 \mathbf{H}

福島県教育委員会教育長

申請 (自署)

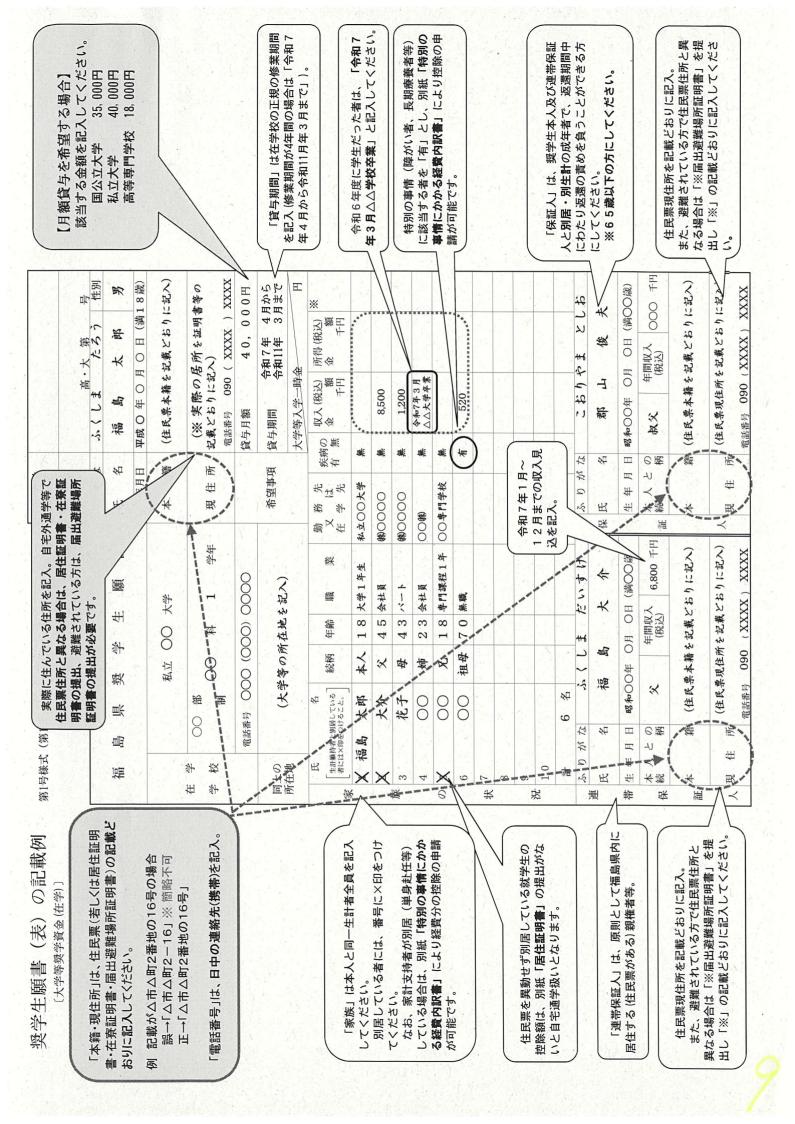
連帯保証人 (自署)

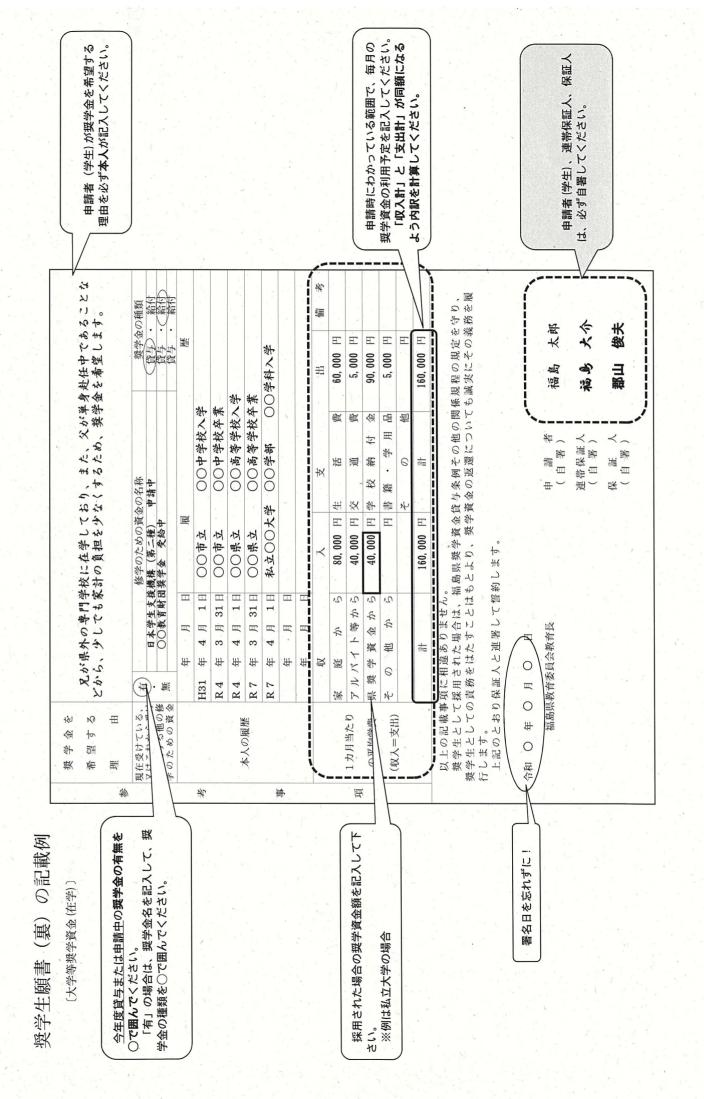
証 (自署)

記載上の注意

- (1)「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
 (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のめの 資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○ください。
- 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5)「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新 入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつて は、生活費の記入を要しません。







※受付番号

| | | | 福 | 島 | 県 | 奨 学 | 生生 | 推 | 薦 | 周書 | | | | |
|---------------|---------------|---------------------------------------|-----------------|------|------------|------------|------|-------------|----|-----|-----|------------------|-----|-------|
| 氏名 | | | | 在学学校 | | | 立 | | | | | 部制 | 科 | 年 |
| | 教科 | | | | | | | | | | | | | |
| 出身(| 年 | | | | | | | | | | | | | |
| 在 学 学 | 年 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | | | | | | | e e | | | | |
| 出身 (在学) 学校の成績 | 教科 | | | | | : | | 1. 11 2. | | | | - - - - | | 成績平均値 |
| | 年 | | | | | | | | | | | | | |
| | 年 | | | | | | | | | | | | | |
| 推薦学人家庭 | 所 力物 狀況 | 見 | | | | | | | | | | | | |
| 参考 | 事 | 項 | (7 | 在学学 | 交の学 | 業成績の | の席次 | | 人中 | | | 位) | | |
| | | て適 | 人物及 当と認 目 | | | | | | | 学費の | 支弁な | 難困゛ | であり | |
| 福島リ | | | · 令教育- | | <u>, 2</u> | 华校長 | (学長) | | | | | | | 即 |
| ※ 判 | 定 | | | • | | - | | | | | - | | | |

記載上の注意

- 「※」印の欄は、記入しないでください。 「※」印の欄は、記入しないでください。 この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。 「出身(在学)学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合 には、記入を要しません。 (1) (2) (3)

| (更) 申請書] | Ш | 十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | | 記入上の注意 | 1 裏面の記載例を参考に、色のついた欄を記入 してください。 2 学生の住民単在所の記載がより そのキャ写 | してください。 | りてはなくていてのい。 | 注・市外局番からハイフンなしで割入してください |) J | 電話番号 | | | | | | | | | | 福島県知事 | 上記のとおり申請します。 | 年 月 日 | 住所 | \$ E | 人人 | 電話番号 |
|---------------------------------------|-----|--|------|--------|---|---------|----------------|---------------------------------|-----|------|---------------------------------------|------|---|-----------------------|------|-----|------|---------|-------|-------|----------------------|----------------|-------------------------|------|----|------|
| 口座振替による支払申出書 [債権者登録(変更) 【福島県奨学資金用】 | | てください | | | | | 期 便 番 号 | 1・町・字・丁目(県外の場合は区市町村まで)を記入してください | 河 | | (県外の場合は大字以下の住所を記入願います) | | | MAC | | | | | 店舗名 | | 1) 口座番号(右づめ) | | 1 義 人 (※ 生徒本人名義をカナで記入) | | | |
| 福島県財務 債権者コード | - I | : 姓と名の間は1文字あけて記入して | フリガナ | 学生氏名 | | | 会社区分 住 所 コ 一 ド | : 都道府県・区市町村・大字・通称名・町フココナー | 2 | 年 所 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | フリガナ | 番 | : ビル名、アパート名等を記入してください | フリガナ | 力 書 | 支払方法 | 1. 口座振替 | 金融機関名 | | 金種別 (※ 貯蓄口座は利用できません) | 1. 普通預金 又は総合口座 | 四 四 四 | | * | |

※上記に記入した金融機関の、通帳の表紙および見開き1ページ(金融機関名・店舗名・口座番号・カナ氏名がわかるページ)のA4コピーを必ず添付してください。

日中の連絡先(携帯電話等) 記入。 2 学生の<u>住民票住所の記載どおり</u>、そのまま写 してください。 色のついた欄を記入 3 右下の日付/住所/学生氏名/電話番号を忘れずに記入してください。 7∞ 〇〇大学 <u>~</u> 高校教育課 9 2 記入上の注意 記載例を参考に、 4 3 2 執行機関名 : 市外局番からハイフンな 0 中 してください。 6 1 裏面の 0 大第 電話番号 申請書 「番地」「の」「号」「建物名」は、 誤→[△市△2-16 A-201] **住民票の住所**を記載どおりに 口座振替による支払申出書 [債権者登録(変更) 記載されたままを写すこと。 特に「〇〇番地の〇号」の (簡略不可!) 記入したください。 【福島県奨学資金用 色 福品 中 ケンエイスギツマダンチエートウ201ゴウシツ 目 (県外の場合は区市町村 フクシマシスギル 0 0 中 8 9 8 吓 棟 福島 曲 导 K 寅 0 刘 脚 9 6 部 田 ート名等を記入してください 都道府県・区市町村・大字・通称名・町 00 妻 番地の 太 フクシマ 人記了 N # П M 沁 姓と名の間は1文字あけ 副 ړ, 币 債権者コード 1 亭 0 # 福 1 + 名 ビル名、ア 型 丰 フリガナ フリガナ 福島県財務 F 出 会社区分 \mathbb{H} 支払方法 = 梅 五 俳 7 .. ∰

141

(申請者本人の)を自署してく 日付・住所・氏名・電話番号 # # 令和〇年〇月〇日 島 県 知 事 / 上記のとおり申請し ださい。 油 币 名 # 出 ※ゆうちょ銀行の通帳に、 口座番号の記載が無い場合は、 余白に「記号」「番号」を記入。 記号18280 番号999991 6 口座番号 (右づめ) 6 6 6 6 0 0 県庁支店 (※ 貯蓄口座は利用できません) 普通預金 又は 総合口座 東邦銀行 4 D

1. 口座振替

預金種別

※上記に記入した金融機関の、通帳の表紙および見開き1ページ(金融機関名・店舗名・口座番号・カナ氏名がわかるページ)のA4コピーを必ず添付してください。

A

1

1,

1

李

電話番号

(注)

実際の住所が住民票と 異なる場合のみ提出

居住証明書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

- 1 居住者の氏名
- 2 住居の所在地 (〒・建物名・部屋番号も記入してください。)

3 居住の期間

年 月 日から現在(年 月)まで

年 月 日

証明者(住居の所有者又は貸主)

住所

氏名

(注) 該当者のみ 提出

特別の事情にかかる経費内訳

年 月 日

福島県教育委員会教育長

(学生名) 申請者

特別の事情にかかる経費については、下記のとおりです。

記

[該当項目] ※該当する項目の番号に○をつけてください。

1 障がい者がいる。

(該当者名

2 長期療養者がいる。 (該当者名

3 家計支持者が別居している。

4 火災・風水害・盗難などの被害を受けた。

| And the second | | | | | (単位:円) |
|----------------|-----|---|---|---|--------|
| 年・リ | F . | ^ | | | 月/計 |
| 令和 年 | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | * | | |
| 年 | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | | | 1 |
| 年 | 月 | | | | |
| 年, | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | | | |
| 年 | 月 | | | | |
| 領収書 | 計 | | | A | |
| 年間推算 | 類 | | | | |

- (注1)「障がい者がいる場合」: 障がい者手帳のコピーを添付してください。
- (注2)「長期療養者がいる場合」: 病院・医師の「領収書(申込時まで6か月以上継続療養中のもの)」を添付し、 年間所要見込額を推算してください。

※「障がい者がいる場合」に該当した場合は重複しての控除はできません。

- (注3)「家計支持者が現在別居している場合」: 表に家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々最新の 数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。
- (注4)「火災・風水害・盗難」: 罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。
- (注5) 証明書類の添付がない場合は控除の対象になりません。

給与等支払(見込)証明書(雇用契約内容について記入)

| 給料、賃 勤務を要し 月平均の勤 | 金等 ·月給制 ·日給制 | 入できない理由 月 額 日 額 時 給 火・水・木・金・土・ _時間 × | 円 円(1か月平均勤 円 祝祭日(○で囲む) =時間) | 加務日数 日) |
|------------------------|-------------------|---|---|----------------|
| 支払 | | 支払金額(気 | 支払区分ごとに記入) | |
| (見 込) 年 月 | 給料等 | 通勤費 | 超勤等分 | 合計 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | 4 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| * | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| <u> </u> | | 年 | 月 | |
| | | 年 | 月 | |
| - | | <u> </u> | 7 | |
| 上記のとおり木 | 相違ないことを証明す 住 所 | る。 | 年 月電話 (| H |